

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

北九州市立大学内部質保証推進室

(責任者名) 松尾 太加志

(役職名) 学長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	プログラムの履修・修得状況は、本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」の履修・修得状況を把握することにより確認している。受講者ごとの課題・演習等の進捗状況は、LMSを活用することにより把握している。
学修成果	本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」の受講者に対して「授業評価アンケート」を実施することにより、学修成果に関する結果を確認し、本教育プログラムの自己点検および評価・改善に活用している。また、課題・演習等の成果物およびディプロマ・ポリシーの達成状況を把握することにより、学修成果を確認している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」の受講者に対して「授業評価アンケート」を実施することにより、学生の理解度を把握し、自己点検および評価・改善に繋げている。また、アンケート結果を授業担当教員にフィードバックし、教員自らによる自己点検および評価・改善に活用している。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本教育プログラムの詳細についてWebサイトや大学案内等に掲載して、在学生・入学希望者等へ周知する予定である。また、「授業評価アンケート」等における理解度・満足度の結果を踏まえて、入学オリエンテーションでのアナウンスや関連科目での科目案内資料配布などを行い、プログラムの履修を推奨する予定である。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本教育プログラムの開設年度は令和4年度である(令和4年度入学生から)。そのため令和5年度以降は、履修者数の合計および履修率は増加すると見込まれる。なお、本教育プログラムの詳細についてはWebサイトや大学案内等に掲載して学生へ周知するとともに、関連科目等でのアナウンスを行う予定である。これにより履修者数・履修率の向上に向けた取り組みを行う。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
<p>学外からの視点</p> <p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p>	<p>令和4年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には進路、活躍状況、企業等の評価を把握し、本教育プログラムの改善の参考とする予定である。</p>
<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>令和4年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には本教育プログラム内容・手法等に対する企業等からの意見を把握し、教育プログラムの改善の参考とする予定である。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」の受講者に対して、データサイエンスに関するイメージ調査を行い、その結果を踏まえ「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解してもらえるような講義内容を検討する。また、「授業評価アンケート」の結果を踏まえ、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げ、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解してもらえるような教育プログラムを検討する。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>	<p>「授業評価アンケート」により、学生の理解度を把握し、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げている。また、アンケート結果を授業担当教員にフィードバックすることにより、内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業となるように、教員自らによる自己点検および評価・改善も行う。</p>